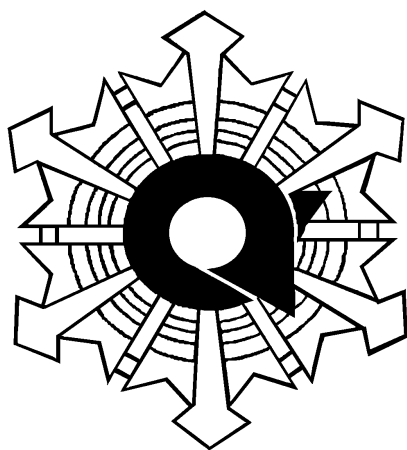


令和3年 綾部市 火災救急救助統計



一人ひとりの幸せをみんなで紡いで
実現できるまち… 綾部

綾部市消防本部

目 次

火災の部	1
1 火災概要及び前年比較	2
2 月別火災発生状況	3
3 時間帯別火災発生状況	3
4 曜日別火災発生状況	3
5 出火原因別火災発生状況	4
6 覚知別火災発生状況	4
7 気象別火災発生状況	4
8 地区別火災発生状況	5
9 消防隊出動状況	5
10 過去10年間の火災発生件数の推移	6
救急の部	7
1 救急事故概要及び前年比較	8
2 月別出動件数	9
3 本署・出張所別救急発生状況	9
4 地区別出動件数	9
5 医療機関別搬送人員	10
6 年齢区分別搬送人員	10
7 疾病分類別傷病程度別搬送人員	10
8 救急隊員による応急処置件数	11
9 ドクターヘリ出動要請前年比較	11
10 ドクターヘリ出動要請件数及び医療機関別搬送状況	11
11 バイスタンダー(患者の近くに居合わせた人) による応急手当件数	12
12 応急手当普及啓発活動の実施状況 令和3年中	12
救助の部	13
1 救助活動の概要と前年比較	14
2 救助出動人員・救助人員	14
3 月別救助出動件数	15
4 発生場所別出動件数	16
通信指令の部	17
1 前年比較受信件数	18
2 覚知別受信件数	18
3 月別受信件数	19
4 119番適正利用について	19

火災の部

火災の概要

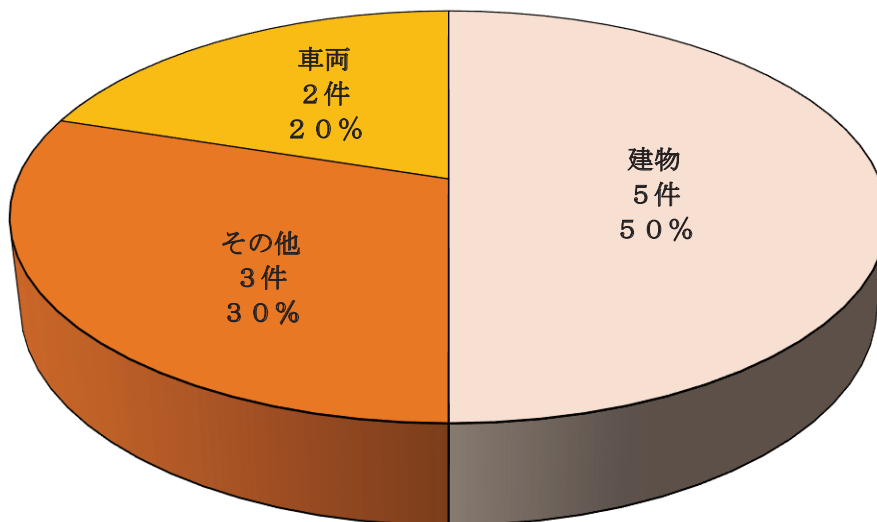
令和3年における火災発生件数は10件で、前年と比較して1件の減少となりました。また、36.5日に1件の割合で火災が発生しており、人口1万人あたりの出火件数を表す出火率は3.2件でした。

火災種別ごとの発生件数は、建物火災が5件、その他火災が3件、車両火災が2件でした。

出火原因別では、たき火が3件、エンジン始動時の電気系統の異常、グラインダーの火花、消したはずのものが再燃する、放火の疑い、灯明（ローソク）、調査中、不明がそれぞれ1件でした。

火災による損害額の合計は23,304千円で、前年と比較して、6,062千円の減少となりました。

火 災 種 別 割 合



(注) 割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合があります。

過 去 5 年 間 の 月 別 件 数

(単位：件)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平成29年				1	1	1	1		1				5
平成30年		3	6	1			3	1		1		2	17
令和元年 (平成31年)				1	2	1	1	3					8
令和2年		1	2	3		2			1	1		1	11
令和3年		1	1	1					1	1		5	10

1 火災概要及び前年比較

区分		年別及び比較		令和3年	令和2年	比 較
				(1月～12月)	(1月～12月)	増減(減印△)
出火件数	合 計			10 件	11 件	△ 1 件
	建 物			5 件	5 件	0 件
	林 野			0 件	0 件	0 件
	車 両			2 件	2 件	0 件
	そ の 他			3 件	4 件	△ 1 件
焼 損 面 積	建物床面積			599.5 m ²	179 m ²	420.5 m ²
	建物表面積			0 m ²	21 m ²	△ 21 m ²
	林 野			0 a	0 a	0 a
	そ の 他			4,488 m ²	2,121 m ²	2,367 m ²
焼 損 棟 数	全 焼			2 棟	3 棟	△ 1 棟
	半 焼			0 棟	1 棟	△ 1 棟
	部 分 焼			2 棟	0 棟	2 棟
	ぼ や			2 棟	1 棟	1 棟
損害見積額	合 計			23,304,000 円	29,366,000 円	△ 6,062,000 円
	建 物			23,094,000 円	29,142,000 円	△ 6,048,000 円
	林 野			0 円	0 円	0 円
	車 両			210,000 円	216,000 円	△ 6,000 円
	そ の 他			0 円	8,000 円	△ 8,000 円
り災世帯数	全 損			1 世帯	2 世帯	△ 1 世帯
	半 損			0 世帯	0 世帯	0 世帯
	小 損			0 世帯	0 世帯	0 世帯
り 災 人 員				1 人	5 人	△ 4 人
人 的 被 害	死 者			0 人	1 人	△ 1 人
	傷 者			1 人	3 人	△ 2 人
火 災 発 生 間 隔 (日／1件)				36.5 日	33.3 日	3.2 日
1 日 平 均 損 害 額				63,847 円	80,235 円	△ 16,388 円
1 件 平 均 損 害 額				2,330,400 円	2,669,636 円	△ 339,236 円
市民1人あたりの損害額				742 円	928 円	△ 186 円
出火率(件÷人口×1万人)				3.2 件	3.5 件	△ 0.3 件

綾部市推計人口：31,388人(令和3年12月1日現在)

2 月別火災発生状況

種別 月別	火 災 件 数					焼 損 棟 数				り災世帯数			り 災者数 (人)	死傷者		焼 損 状 況				
	建 物	林 野	車 両	そ の 他	計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	全 損	半 損	小 損		死 者 (人)	傷 者 (人)	建物 (㎡)		林 野 (a)	車 両 (台)	そ の 他 (㎡)
																床 面 積	表 面 積			
1																				
2				1	1														1,700	
3			1		1													1	1,820	
4				1	1														468	
5																				
6																				
7																				
8																				
9	1				1	1										325				
10			1		1													1	500	
11																				
12	4			1	5	1		2	2						1	274.5				
合 計	5	0	2	3	10	2	0	2	2	0	0	0	0	0	1	599.5	0	0	2	4,488

3 時間帯別火災発生状況

(単位：件)

発生時間帯		0:00 ～ 5:59	6:00 ～ 11:59	12:00 ～ 17:59	18:00 ～ 23:59	不 明	合 計
発生件数			4	3	3		10
内 訳	建物火災		2	1	2		5
	林野火災						0
	車両火災			1	1		2
	その他火災		2	1			3

4 曜日別火災発生状況

曜 日	発生件数
日曜日	1
月曜日	1
火曜日	2
水曜日	0
木曜日	1
金曜日	3
土曜日	2



タンク1号車(署配備)

5 出火原因別火災発生状況

出火原因	種別	火災件数					焼損状況				
		合計	建物	林野	車両	その他	建物(m ²)		林野 (a)	車両 (台)	その他 (m ²)
							床面積	表面積			
たき火		3			1	2				1	2,668
エンジン始動時の電気系統の異常		1			1					1	1,820
グライNDERの火花		1	1				11				
消したはずのものが再燃する		1	1				20.5				
放火の疑い		1				1					
灯明(ローソク)		1	1				243				
調査中		1	1								
不明		1	1				325				
合 計		10	5	0	2	3	599.5		0	2	4,488

6 覚知別火災発生状況

(単位：件)

種 別		火災件数				
覚 知 別		合計	建物	林野	車両	その他
専用電話 (119)	加入電話から					
	携帯電話から	7	4		1	2
	I Pから	1	1			
加入電話 (代表番号)	加入電話から					
	携帯電話から					
警 察 電 話		1			1	
事 後 聞 知		1				1
駆 け 付 け						
そ の 他						
合 計		10	5	0	2	3

7 気象別火災発生状況

(1) 天候別

天 候	件 数
快 晴	
晴 れ	1
曇 り	8
霧	
雨	
雪	1
不 明	
合 計	10

(2) 湿度別

湿度(%)	件 数
0～10未満	
10～20 "	
20～30 "	
30～40 "	
40～50 "	3
50～60 "	
60～70 "	
70～80 "	1
80～90 "	1
90 以上	5
不 明	
合 計	10

(3) 風速別

風速(m/s)	件 数
0～1未満	5
1～2 "	1
2～3 "	1
3～4 "	1
4～5 "	2
5～6 "	
6～7 "	
7～8 "	
8～9 "	
9～10 "	
10 以上	
不 明	
合 計	10

(4) 風向別

風 向	件 数
北	1
北北東	1
北東	
東北東	
東	1
東南東	
南東	
南南東	
南	1
南南西	
南西	
西南西	3
西	2
西北西	
北西	
北北西	
無 風	1
合 計	10

8 地区別火災発生状況

(単位：件)

地区別		綾部	吉美	西八田	東八田	山家	口上林	中上林	奥上林	中筋	豊里	物部	志賀郷	合計
出火件数	計	3	0	1	0	1	0	0	1	0	2	1	1	10
	建物	2									1	1	1	5
	林野													0
	車両			1							1			2
	その他	1				1			1					3



9 消防隊出動状況

(単位：件)

区分	火災	そ の 他							合計
		無損事故 (注1)	火災警戒 (注2)	怪煙等調査 (注3)	誤報等 (注4)	水防 (注5)	救急支援等 (注6)	その他 (注7)	
出動回数	10	4	3	20	4	3	69	8	121

(注1)・・・人の意図に反して発生した燃焼・爆発現象のうち、その態様が周囲の状況から判断して社会通念上公共危険が認められず、かつ、被害程度が軽微な事象への出動。

(注2)・・・ガス又は油類等の漏えい・流出で出火危険が生じた事象への出動。

(注3)・・・怪煙・怪炎等の事象を調査するための出動。

(注4)・・・誤報やいたずら通報による出動。

(注5)・・・大雨による河川氾濫、土砂災害等への出動。

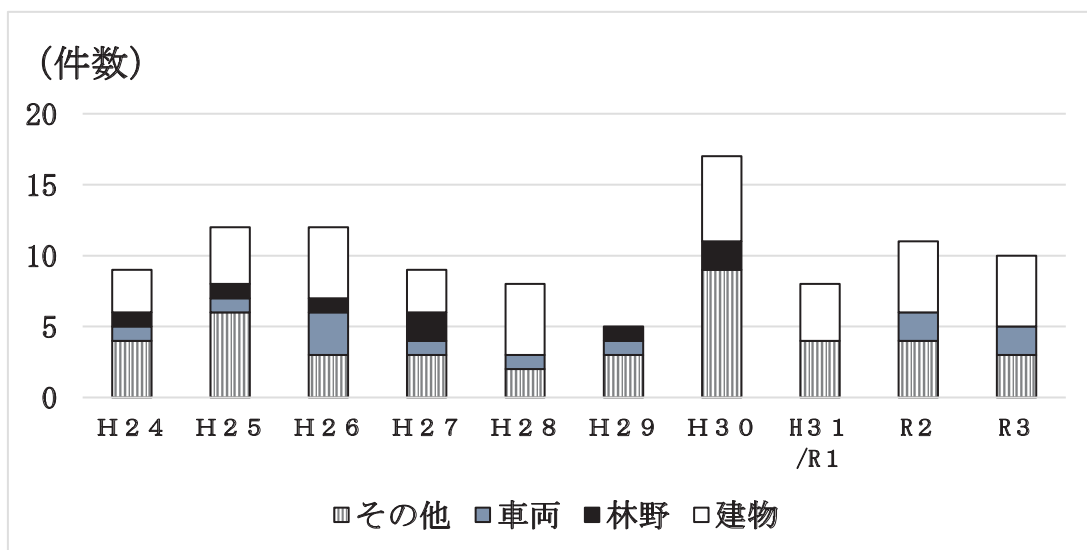
(注6)・・・救急隊支援出動等（ドクターヘリによる出動含む。）。

(注7)・・・上記の項目に当てはまらないもの。

10 過去10年間の火災発生件数の推移

(単位：件)

年 火災種別	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和元年 (平成31年)	令和 2年	令和 3年
建物火災	3	4	5	3	5	0	6	4	5	5
林野火災	1	1	1	2	0	1	2	0	0	0
車両火災	1	1	3	1	1	1	0	0	2	2
その他火災	4	6	3	3	2	3	9	4	4	3
合 計	9	12	12	9	8	5	17	8	11	10



おうち時間

家族で点検

火の始末



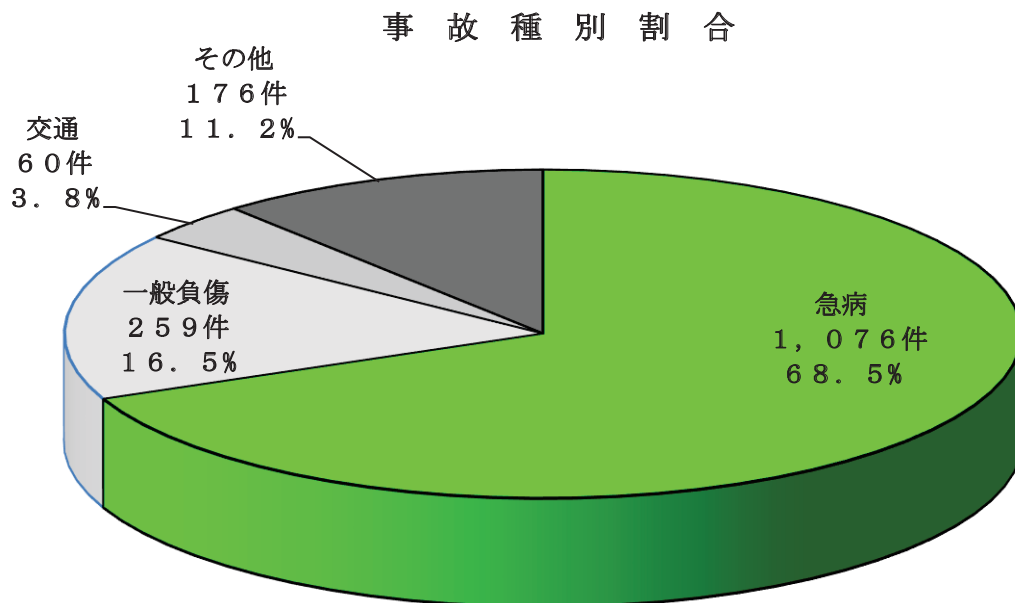
けし太君

救急の部

救急の概要

令和3年における救急出動件数は1,571件で昨年比34件増となり、近年の件数から大きく減少した昨年と同程度となりました。搬送人員は1,498人で、昨年より14人の増加となりました。医師の早期現場介入を目的としたドクターヘリについて、82件の出動要請を行い、38人が搬送されました。

応急手当普及啓発活動は、昨年に引き続いて、新型コロナウイルス感染症流行の影響により、感染防止策徹底の上での活動となりましたが、綾部市応急手当インストラクターの御協力のもと、普通救命講習Ⅰを17回開催することができ、新たに165人の市民の皆さまに受講していただきました。



(注) 割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合があります。

過去5年間の月別件数

(単位: 件)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平成29年	161	134	147	148	137	104	147	147	124	118	126	152	1,645
平成30年	203	173	148	130	143	116	188	171	123	148	114	165	1,822
令和元年 (平成31年)	167	135	147	140	121	107	156	176	148	147	150	154	1,748
令和2年	131	162	133	90	102	102	144	128	123	152	133	137	1,537
令和3年	134	114	121	143	129	126	135	136	125	123	134	151	1,571

1 救急事故概要及び前年比較

区 分		年別及び比較		令和 3 年	令和 2 年	比 較
				(1 月～1 2 月)	(1 月～1 2 月)	増減 (減印 △)
出 動 件 数				1, 571 件	1, 537 件	34 件
搬 送 人 員				1, 498 人	1, 484 人	14 人
事故種別救急出動件数	火 災			0 件	3 件	△ 3 件
	自 然 災 害			0 件	0 件	0 件
	水 難			1 件	0 件	1 件
	交 通 事 故			60 件	83 件	△ 23 件
	労 働 災 害			21 件	13 件	8 件
	運 動 競 技			6 件	9 件	△ 3 件
	一 般 負 傷			259 件	258 件	1 件
	加 害			5 件	1 件	4 件
	自 損 行 為			16 件	6 件	10 件
	急 病			1, 076 件	1, 037 件	39 件
	その他	転 院		127 件	122 件	5 件
		医 師 搬 送		0 件	1 件	△ 1 件
		資器材搬送		0 件	0 件	0 件
そ の 他			0 件	4 件	△ 4 件	
1 日平均出動件数			4. 32 件	4. 20 件	0. 12 件	
綾 部 市 人 口 (12月 1 日現在の推計人口)			31, 388 人	31, 655 人	△ 267 人	

2 月別出動件数

(単位：件)

種別 \ 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	割合
急病	91	69	87	97	93	87	97	89	78	87	89	112	1,076	68.5%
交通事故	10	1	5	5	4	5	11	7	3	6	1	2	60	3.8%
一般負傷	27	26	20	29	17	19	15	20	27	21	20	18	259	16.5%
その他	6	18	9	12	15	15	12	20	17	9	24	19	176	11.2%
合計	134	114	121	143	129	126	135	136	125	123	134	151	1,571	

(注) 割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合があります。

3 本署・出張所別救急発生状況

事故種別 \ 管区別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計	割合
本署	出動件数(件)	0	0	1	55	21	6	230	5	14	944	1,402	89.2%
	搬送人員(人)	0	0	0	49	21	6	220	6	12	898	1,337	89.3%
出張所	出動件数(件)	0	0	0	5	0	0	29	0	2	132	169	10.8%
	搬送人員(人)	0	0	0	4	0	0	27	0	0	129	161	10.7%
合計	出動件数(件)	0	0	1	60	21	6	259	5	16	1,076	1,571	
	搬送人員(人)	0	0	0	53	21	6	247	6	12	1,027	1,498	

(注) 割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合があります。

4 地区別出動件数

(単位：件)

事故種別 \ 地区	綾部	吉美	西八田	東八田	山家	口上林	中上林	奥上林	中筋	豊里	物部	志賀郷	管外	合計
急病	333	48	49	58	49	52	62	27	183	120	45	50	0	1,076
交通事故	21	4	5	5	2	0	3	1	5	10	2	1	1	60
一般負傷	84	7	18	19	14	11	11	8	37	28	13	9	0	259
その他	79	3	7	7	0	0	1	2	67	8	1	0	1	176
合計	517	62	79	89	65	63	77	38	292	166	61	60	2	1,571
割合	32.9%	3.9%	5.0%	5.7%	4.1%	4.0%	4.9%	2.4%	18.6%	10.6%	3.9%	3.8%	0.1%	

(注) 割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合があります。

5 医療機関別搬送人員

(単位：人)

医療機関名	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計	割合
綾部市立病院	778	47	212	82	1,119	74.7%
京都協立病院	115	0	18	0	133	8.9%
綾部ルネス病院	15	0	3	0	18	1.2%
綾部市内診療所	1	0	0	0	1	0.1%
福知山市内医療機関	89	2	12	63	166	11.1%
舞鶴市内医療機関	17	0	2	17	36	2.4%
京都市内医療機関	1	0	0	3	4	0.3%
その他府内医療機関	0	0	0	3	3	0.2%
他府県医療機関	0	0	0	0	0	0.0%
ドクターヘリ	11	4	0	3	18	1.2%
合 計	1,027	53	247	171	1,498	

(注) 割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合があります。

6 年齢区分別搬送人員

(単位：人)

別	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計	割合	備考
新生児	0	0	0	2	2	0.1%	生後28日未満の者
乳幼児	7	0	5	1	13	0.9%	生後28日以上 満7歳未満の者
少年	13	3	1	5	22	1.5%	満7歳以上 18歳未満の者
成人	157	31	22	60	270	18.0%	満18歳以上 65歳未満の者
高齢者	850	19	219	103	1,191	79.5%	満65歳以上の者
合 計	1,027	53	247	171	1,498		

(注) 割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合があります。

7 疾病分類別傷病程度別搬送人員

(単位：人)

疾病部類別	脳疾患	心疾患	消化器系	呼吸器系	精神系	感覚系	泌尿器系	新生物	その他	調査中	合計	割合
死亡	4	17	10	15	0	0	3	8	44		101	6.7%
重症	58	30	23	37	0	1	17	9	115		290	19.4%
中等症	40	53	48	42	6	11	27	6	135		368	24.6%
軽症	26	37	45	29	37	52	31	1	341		599	40.0%
調査中										140	140	9.3%
合 計	128	137	126	123	43	64	78	24	635	140	1,498	

※ 救急車で医療機関へ搬送後、診察を拒否されている場合があります。

(注) 割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合があります。

8 救急隊員による応急処置件数

(単位：件)

事故種別 応急処置	止血	固定	人工呼吸	心肺蘇生	酸素投与	気道確保	保温	被覆	血圧測定	心電図測定	その他処置	除細動	救命士特定行為					応急処置合計
													気道確保	静脈路確保	気管挿管	血糖測定	薬剤投与	
急病	0	2	14	50	312	72	70	2	989	981	1,016	1	35	28	1	31	22	3,626
交通事故	5	38	0	0	8	0	2	2	56	37	56	0	0	0	0	0	0	204
一般負傷	39	31	1	3	24	5	28	20	247	185	251	0	2	2	0	0	2	840
その他	15	10	2	0	44	4	9	8	147	68	165	0	0	0	0	1	0	473
合計	59	81	17	53	388	81	109	32	1,439	1,271	1,488	1	37	30	1	32	24	5,143

※ 1件の救急事案に対して、2つ以上の応急処置が施されている場合があります。

9 ドクターヘリ出動要請前年比較

年 別		令和3年	令和2年	比 較
要請件数(件)		82	125	△ 43
搬送人員	ドクターヘリ(人)	25	45	△ 20
	救急車(人)	13	11	2

10 ドクターヘリ出動要請件数及び医療機関別搬送状況

(単位：件)

事故種別		急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
要 請 件 数		65	5	2	10	82

(単位：件)

キャンセル理由	要 請 取 り 消 し	14	0	0	2	16
	天 候 不 良	14	0	2	2	18
	他 事 案 出 動 中	3	0	0	0	3
	そ の 他	5	1	0	1	7
	合 計	36	1	2	5	44

(単位：人)

事故種別		急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
医療機関別搬送人員						
ドクターヘリ	綾部市立病院	2	0	0	0	2
	市立福知山市民病院	8	0	0	1	9
	公立豊岡病院	8	3	0	3	14
	合 計	18	3	0	4	25
救急車	綾部市立病院	11	0	0	1	12
	京都協立病院	1	0	0	0	1
	合 計	12	0	0	1	13

※ 同一事案に、複数名の傷病者が発生している場合があります。

11 バイスタンダー(患者の近くに居合わせた人) による応急手当件数

(単位: 件)

事故種別	応急手当	気道確保	人工呼吸	胸骨圧迫	心肺蘇生	保温	体位管理	固定	止血	被覆	のその他	AED	応急手当合計
急病		1	1	33	2	7	6	0	1	0	3	3	57
交通事故		0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2
一般負傷		1	0	1	0	3	3	1	28	0	10	0	47
その他		0	0	1	0	0	1	0	11	0	2	0	15
合計		2	1	35	2	10	10	1	41	0	16	3	121

※ 1件の救急事案に対して、2つ以上の応急手当が施されている場合があります。

12 応急手当普及啓発活動の実施状況 令和3年中

講習内容	講習回数(回)	講習受講者数(人)	総受講者数(人)※
普通救命講習Ⅰ (注1)	17	165	13,395
普通救命講習Ⅱ (注2)	0	0	680
上級救命講習 (注3)	1	15	694
応急手当普及員講習 (注4)	1	3	302
救命入門コース	小学生対象(注5)	0	1,298
	高齢者学級対象(注6)	0	237
再講習		192	6,398

※ 総受講者数は平成7年から令和3年12月までの累計となります。

(注1)…救命に必要な応急手当(成人に対する方法)の3時間の講習

(注2)…救命に必要な応急手当(成人に対する方法、実技及び筆記試験)の4時間の講習

(注3)…救命に必要な応急手当(成人、小児、乳児、新生児に対する方法、実技及び筆記試験)及びその他の応急手当の8時間の講習

(注4)…基礎的な医学知識・技能及び指導要領、実技及び筆記試験の24時間の講習

(注5)…年少の頃より応急手当に慣れ親しんでもらうことを目的とした90分の講習

(注6)…救命に必要な応急手当(成人に対する方法)の実施をより広く普及させる90分の講習

(広報掲載)

救急の電話相談窓口
「救急安心センターきょうと」 **#7119**

・24時間365日対応 ・看護師等がアドバイス ・医療機関も案内

救急の電話相談窓口「#7119」は、急な病気やけがなどをしたときに、救急車を呼ぶべきか、病院に行くべきか、様子を見るべきかなど迷った際に、看護師等の専門家から電話でアドバイスを受けられる相談窓口です。ぜひ活用してください。

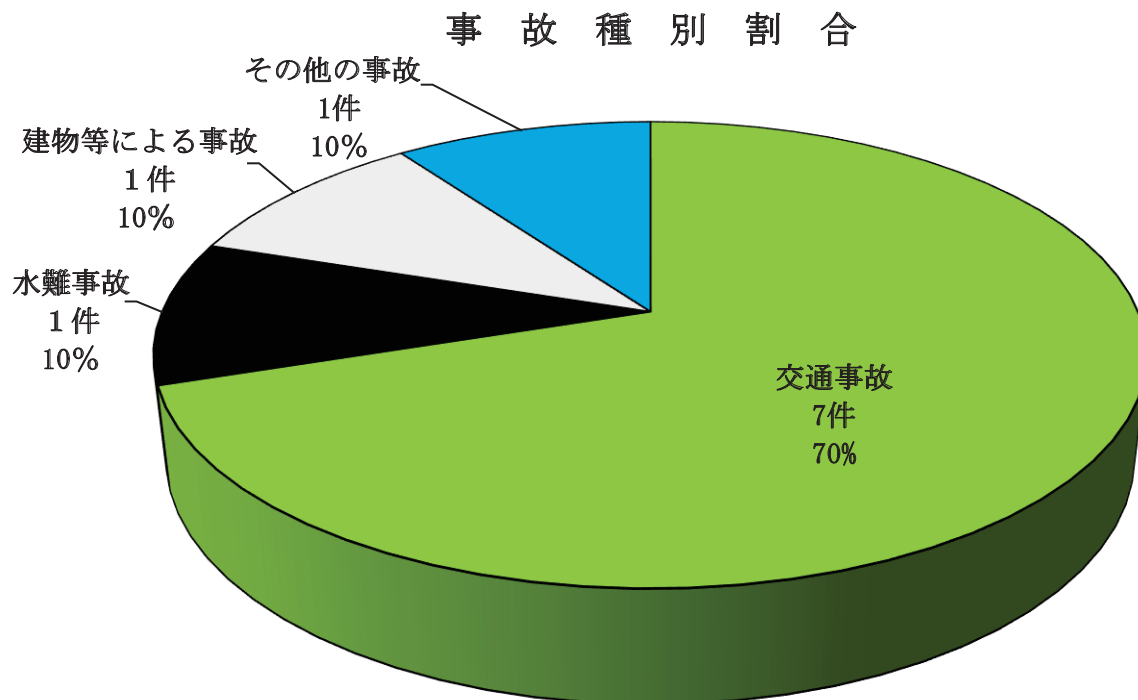
ダイヤル回線など一部の回線では **0570-00-7119** におかけください。

※自身が緊急と思ったときは、ためらわずに119番で救急車を呼んでください。

救助の部

救助の概要

令和3年における救助出動件数は10件で、前年と比較して3件の増加となりました。
 活動件数は6件で前年より5件の増加となっています。
 救助人員は6人で、救助出動した消防職員は延べ93人となっています。
 事故種別では、交通事故7件（70％）、水難事故1件（10％）、建物等による事故1件（10％）、その他の事故1件（10％）となっています。



（注）割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合があります。

過 去 5 年 間 の 月 別 件 数

（単位：件）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平成29年	3	5		3	5	1	3	1	2	3	3	1	30
平成30年	1	2	2	1		1	4	2	3	3		1	20
令和元年 (平成31年)	1	1	2	5	1	2			2	3		1	18
令和2年		1		2			1		1		1	1	7
令和3年	2		2	1		1	1	2	1				10

1 救助活動の概要と前年比較

年別・区分 事故種別		令和3年			令和2年			前年比較（△は減）		
		出動 件数	活動 件数	救助 人員	出動 件数	活動 件数	救助 人員	出動 件数	活動 件数	救助 人員
火 災	建 物									
	建 物 以 外									
交 通 事 故		7	3	3	5	0	0	2	3	3
水 難 事 故		1	1	1				1	1	1
風 水 害 等 自 然 災 害										
機 械 に よ る 事 故										
建 物 等 に よ る 事 故		1	1	1	1	0	0	0	1	1
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故										
破 裂 事 故										
そ の 他 の 事 故		1	1	1	1	1	1	0	0	0
合 計		10	6	6	7	1	1	3	5	5

2 救助出動人員・救助人員

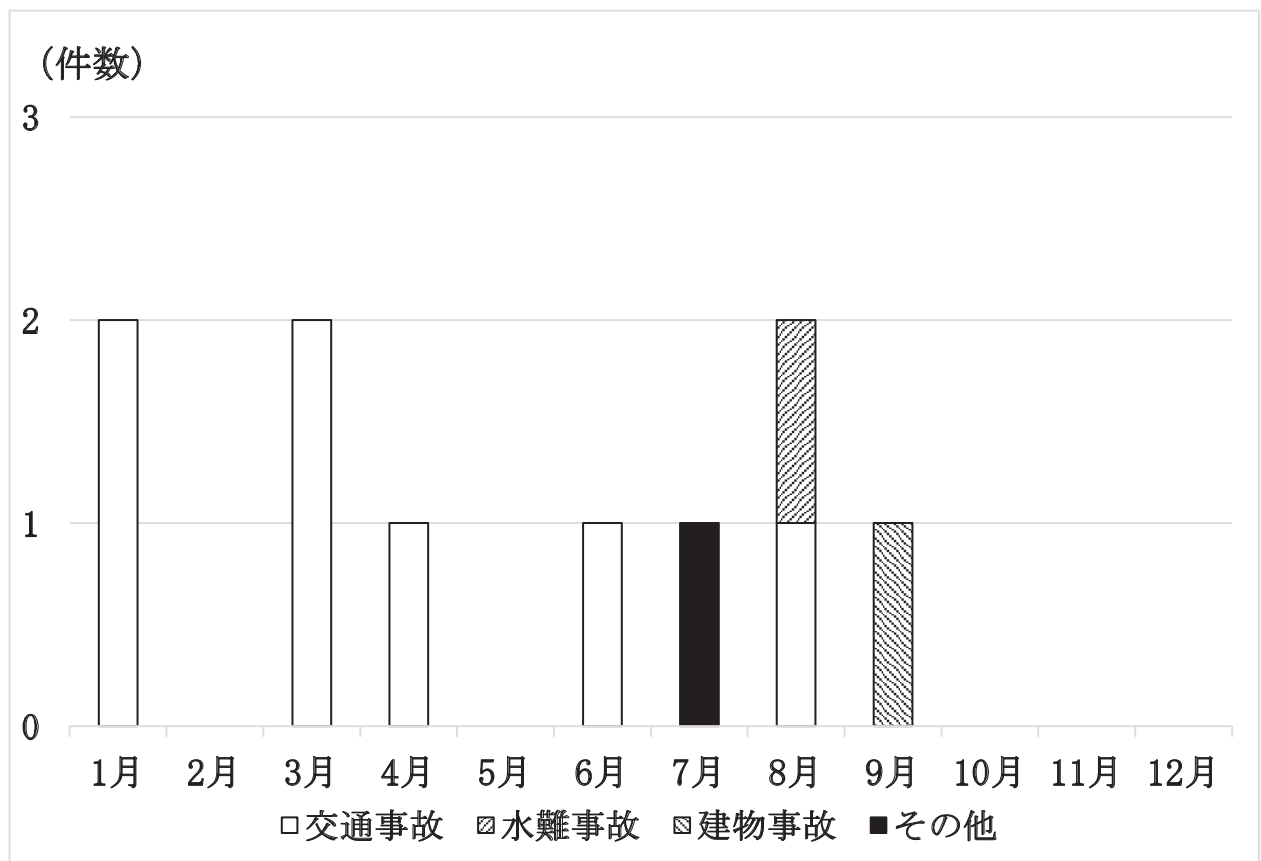
（単位：人）

事故種別 区 分		火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 風 然 水 災 害 等	事 機 械 に よ る 故 る	よ 建 る 物 事 等 故 に	酸 ガ 欠 ス 事 及 故 び	破 裂 事 故	事 そ の 他 の 故	合 計
		建 物	建 物 以 外									
出 動 人 員	指揮隊員			5								5
	救助隊員			28	3			5			6	42
	消防隊員			9								9
	救急隊員			27	4			3			3	37
	計	0	0	69	7	0	0	8	0	0	9	93
救 助 人 員				3	1			1			1	6

3 月別救助出動件数

(単位：件)

事故種別 月 別	火 災		交通 事故	水 難 事故	自風 然水 災害 等	事機 械に よる 故	よ建 る物 事等 故に	酸ガ 欠ス 事及 故び	破 裂 事 故	事そ の 他 故の	計
	建 物	建 物 以 外									
1 月			2								2
2 月											0
3 月			2								2
4 月			1								1
5 月											0
6 月			1								1
7 月										1	1
8 月			1	1							2
9 月							1				1
10 月											0
11 月											0
12 月											0
合 計	0	0	7	1	0	0	1	0	0	1	10



4 発生場所別出動件数

(単位：件)

事故種別 発生場所		火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 風 然 水 災 害 等	事 機 械 に よ る 故 る	よ 建 る 物 事 等 故 に	酸 ガ 欠 ス 事 及 故 び	破 裂 事 故	事 そ の 他 の 故	合 計
		建 物	建 物 以 外									
舞鶴若狭自動車道				1								1
京 都 縦 貫 道				1								1
国 道	27 号			1								1
	173 号											0
府 道	舞鶴綾部福知山線			1								1
	福 知 山 綾 部 線											0
	小 浜 綾 部 線			1								1
市 道				1								1
その他の道路												0
住 宅 内												0
河 川 等					1							1
そ の 他 屋 外				1							1	2
そ の 他 屋 内								1				1
合 計		0	0	7	1	0	0	1	0	0	1	10



通信指令の部

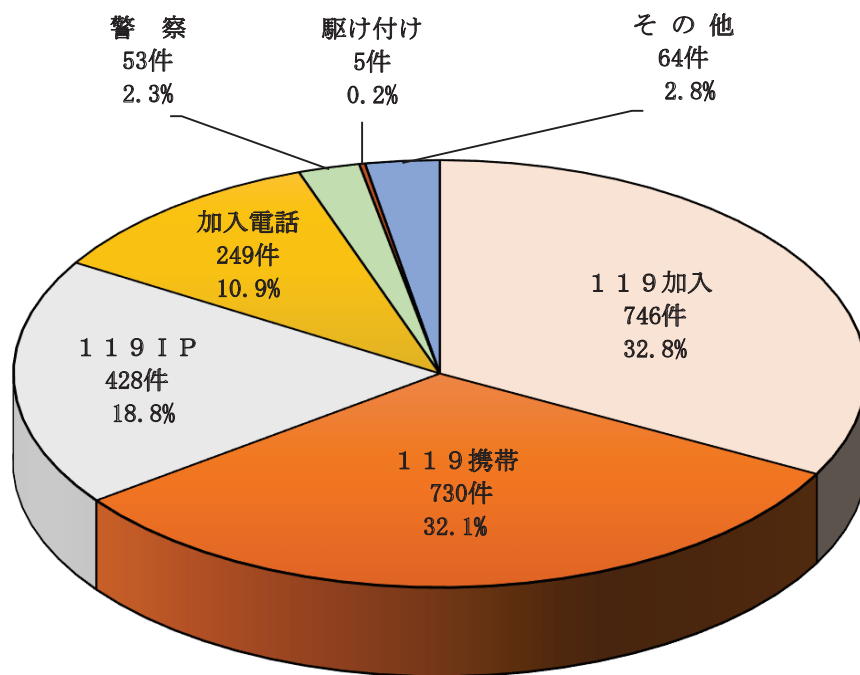
通信の概要

令和3年における受信件数は、2,275件で、月平均は189.6件でした。

その内、緊急通報の受信件数は、1,702件で、月平均は141.8件、1日平均は4.6件でした。

受信件数、緊急通報の受信件数は前年と同程度でした。

覚 知 別 受 信 件 数 割 合



(注) 割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合があります。

過 去 5 年 間 の 月 別 件 数

(単位：件)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平成29年	236	230	246	241	199	170	220	261	211	202	207	212	2,635
平成30年	269	241	259	200	202	174	320	262	205	242	195	247	2,816
平成31年 (令和元年)	235	207	233	203	174	192	230	247	266	226	227	221	2,661
令和2年	202	226	185	132	136	166	199	201	187	218	206	212	2,270
令和3年	185	148	181	203	196	202	195	186	182	198	202	197	2,275

1 前年比較受信件数

年別及び比較 災害別		令和 3 年	令和 2 年	比較（減印△）
火 災		15 件	12 件	3 件
救 急		1,571 件	1,537 件	34 件
救 助		10 件	7 件	3 件
警 戒 等		106 件	140 件	△ 34 件
そ の 他	い た ず ら	14 件	11 件	3 件
	間 違 い	113 件	93 件	20 件
	病院手配 及び 問 い 合 わ せ	94 件	113 件	△ 19 件
	回 線 試 験	111 件	94 件	17 件
	そ の 他	241 件	263 件	△ 22 件
合 計		2,275 件	2,270 件	5 件
緊 急 通 報		1,702 件	1,696 件	6 件

2 覚知別受信件数

（単位：件）

覚知別 災害別		合 計	1 1 9 番			加入 電話	警察	駆け 付け	そ の 他			
			加入 電話	携帯 電話	I P 電話				高速 道路	福祉 電話	自己 覚知	その他
火 災		15	0	9	2	2	1	0	0	0	0	1
救 急		1,571	459	507	314	232	48	4	2	0	5	0
救 助		10	1	7	0	1	0	0	0	0	1	0
警 戒 等		106	14	33	11	14	4	1	3	0	23	3
そ の 他	い た ず ら	14	1	3	9	0	0	0	0	1	0	0
	間 違 い	113	59	39	11	0	0	0	0	4	0	0
	病院手配 及び 問 い 合 わ せ	94	25	48	19	0	0	0	0	2	0	0
	回 線 試 験	111	87	15	4	0	0	0	0	5	0	0
	そ の 他	241	100	69	58	0	0	0	0	14	0	0
合 計		2,275	746	730	428	249	53	5	5	26	29	4
緊 急 通 報		1,702	474	556	327	249	53	5	5	0	29	4

3 月別受信件数

(単位：件)

月別 災害別		合 計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
火 災		15	0	2	1	2	0	1	0	0	1	2	1	5
救 急		1,571	134	114	121	143	129	126	135	136	125	123	134	151
救 助		10	2	0	2	1	0	1	1	2	1	0	0	0
警 戒 等		106	13	6	4	4	15	11	13	13	6	13	2	6
そ の 他	いたずら	14	0	0	1	0	2	2	6	2	1	0	0	0
	間 違 い	113	9	4	3	20	8	20	8	7	6	10	13	5
	病院手配及び 問い合わせ	94	6	4	3	9	14	8	10	9	7	16	4	4
	回 線 試 験	111	7	4	17	11	11	10	7	4	14	12	7	7
	そ の 他	241	14	14	29	13	17	23	15	13	21	22	41	19
合 計		2,275	185	148	181	203	196	202	195	186	182	198	202	197
応急手当の 口頭指導		215	27	19	22	16	16	12	19	11	15	18	16	24

※ 緊急通報とは、火災、救急、救助、警戒等の出動要請を行うための通報をいいます。

※ 受信件数と出動件数は異なります（1件の出動に対し、複数の通報があるためです。）。

※ 災害別のその他の「その他」とは、訓練や携帯119番の他市への転送等をいいます。

4 119番適正利用について

☎ 指令員の問いかけに落ち着いて答えてください。

☎ いたずら通報は絶対にしないでください（緊急通報受信の妨げになります。）。

☎ 住所や氏名などが分からないと現場まで行くことができません。また、必要な情報が得られなければ現場での活動に遅れが生じたり、病院手配や関係機関への連絡ができないことがあります。

☎ 消防車や救急車は緊急車両です。緊急通報を受けて出動した場合、サイレンを鳴らさずに走行することはできません。

☎ 救急車で病院へ行くことで、待たずに診察してもらえるわけではありません。

※ 火災出動や救助出動などの災害発生場所やどのような災害が起こっているかについては、下記の番号で聞くことができます。御利用ください。

災害情報案内

4 2 - 1 2 3 0

119番 通報メモ

通報は まず落ち着いて！



1 火事ですか、救急ですか

火事です ・ 救急です

2 住所、発生場所

綾部市

町

番地

3 事故の状況

☆火災のとき

△△が燃えています。

☆救急のとき

(誰) が (状態) です。

☆ 消防署通信員の問いかけに教えてください。

4 通報者

☆ 通報者氏名

☆ 電話番号

☆ 携帯電話番号



携帯電話からも、119番で通報できます。

まずは、発生場所を「〇〇市」から伝えてください。



キリトリ線

令和3年

綾部市火災救急救助統計

発行 令和4年1月

綾部市消防本部警防課

〒623-0031 綾部市味方町アミダジ20番地の2

TEL 0773-42-0119 (代表)

FAX 0773-43-1483

<http://www.city.ayabe.lg.jp/shobohonbu/>